



令和二年 謹んで新春のお喜びを申し上げます



会員各位におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和に代わり最初の新春を迎えました！新たな年号を頂き今年こそは！と願っております。昨年、平穏な時代の幕開け得夫期待していましたが大台風の襲来でかき消されてしまいました。神奈川県では初めての災害ボランティアセンターが川崎市・相模原市で開所となりました。多くのボランティアさんが駆け付け支援しましたがいまだ復興とは言えない状況です。温暖化による異常気象が原因と言われていて、一人一人が温暖化防止に取り組む必要があります。一方、平安町では「第二会館・防災福祉ふれあい館」が4月より開館し新たな活動が始まりました。高齢者福祉の「美鈴サロン」毎週日曜日に開催されています。健康づくり・脳トレ・ふれあい！子ども事業ふれあい会食会「子ども食堂」を発展させた、家族ぐるみでの参加が増えています。今年度の仕上げとして二階の備蓄庫に食料や防災用品の備蓄を充実させていきます。

ソフト面でも SNS や無線を利用した非常時の通信手段の充実を図っていかねばいけません。新しい時代の社会構造の変化に敏感に対応した、安心・安全な町づくりが求められています。さて、町会運営も従来の町づくり活動に加え、少子高齢化の時代に必要な施策を構築していく必要にせまられています。平安町独特な町活動に加え福祉賛助会が広範囲な活動が許されています。

特に子育て支援活動も従来の幼児を対象とした「フリーふらっとルーム」や「ビデオシアター」に加え「学校支援活動」が充実してまいりました。子育て支援の一環としての平安小学校の支援活動は、ほぼ全学年に及んでいます。福祉賛助会活動のメイン活動に成長しました。

地域の宝である子供たちの健全育成活動は町活動としても最重要課題の一つで注力しています。平安町町会活動と平安町福祉賛助会活動、車の両輪のように強調しあい推進することが町の発展に繋がり、より住みやすい・住み続けたい平安町となることを信じて推進しています。

このような町民の町民による自治活動が評価され、ローカルガバナンスを研修に世界各国から JICA（国際協力機構）の紹介で来ていただいています。来訪国は30か国になろうとしています。さらに、住みよい街環境の整備に向け第二会館を活用していきたいと思えます。従来の会館は町活動及び関連団体の活動拠点として、新たな第二会館は将来を見据えた福祉や防災等幅広い平安町福祉賛助会の活動拠点として、活用されることを目指しています。

会員各位からの活動提案を頂きたいと思えます。町活動の最大の夏祭りも、温暖化による高温の8月から6月に変更して昨年実施しました。お子様の参加が倍増していますので、本年も継続して行いたいと思えます。地域交流事業のバスハイクも年二回が定着し多くの皆さんに楽しみにして頂いています。

町の中で顔の見える関係づくり、近所づきあいの盛んな町、みんなが繋がりあう温かいまち平安町を目指しています。まさに福祉あふれる街づくりです！

### 「平和で 安全な町 平安町」

本年も役員一同福祉あふれる町活動を推進します！  
皆様の絶大なるご支援と子協力をお願い申し上げます！



末筆ながら会員各位のご検証とご多幸をご祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

令和2年 正月

平安町町会 会長 河西 英彦  
役員一同